

「第16回全国スポーツ・レクリエーション祭」フリー参加種目  
生涯スポーツの祭典・スポレク香川 2003

< 太 極 拳 大 会 >

～香川県綾南町で30歳代・40歳代・50歳代の生涯スポーツの祭典～

「第16回全国スポーツ・レクリエーション祭」(スポレク香川2003)が11月1日(土)～4日(火)の4日間、文部科学省、香川県、(財)日本体育協会、(財)日本レクリエーション協会等の主催により「うどんツルツル!スポーツスルスル!」をスローガンとして香川県で開催された。

“うどん発祥の地”に全国の愛好者  
36都道府県の代表選手59人が出場

フリー参加種目・太極拳は、綾南町で行われた。11月1日(土)に「太極拳ふれあい交流会」、翌2日(日)に種目別大会・太極拳大会が綾南勤労者体育館でそれぞれ開催された。いずれも日本連盟、綾南町の主催、香川県連盟(藤井賢会長)、綾南町実行委員会、県実行委員会の主管により行われた。

「太極拳ふれあい交流会」では、初心者を対象として、太極拳講習会(入門太極拳)、および長拳講習会(カンフー体操1・2)、の2部門で講習が行われた。

翌日の「太極拳大会」では、1)30歳代・42式太極拳、2)40歳代・24式太極拳、3)50歳代・24式太極拳の3部門で競技が行われ、36都道府県から選手59人が参加した。“うどん発祥の地”として知られる綾南町に全国の愛好者代表が集い、自選の音楽を使用して演技時間3分以上4分以内で日頃の練習成果を発表し、交流を深めた。

開始式で、大会委員長の後藤満香川県連盟理事長が開会を宣言した。大会会長の藤井賢綾南町長が主催者あいさつ、綾南町議会の野中邦夫議長が歓迎のことばを述べた。友正慧総審判長が競技ルールについての説明、注意を述べ、次に競技に入った。

判定はこれまで同様に、技術点と表現点がそれぞれ各10点、合計20点満点。審判団は、技術点の採点をする執行審判員5人、および表現点を採点する執行審判員5人、計10人の体制で、得点は「技術点」と「表現点」に分けて発表された。

綾南町小学生が長拳集団演武  
来年は10月に福井県今立町で

大会では各種アトラクションが披露された。昼食休憩時には「綾南町親子獅子舞」、表彰式の前には優秀選手による特別演武、綾南町小学生17人による長拳集団演武が披露された。優秀選手特別演武は、一昨年7月にベトナム・ハノイ市で開催された第1回アジアジュニア武術選手権(2001年)女子太極拳金メダリストの武信二三枝選手、および今年10月に中国・北京市で開催の第2回アジアジュニア選手権で男子長拳銅メダリスト・市来崎大祐選手。長拳集団演武を行った小学生は綾南町教育委員会主催の長拳教室でこの日のために練習に励んできた。

表彰式で、各部門の1位～10位の選手がスポレク賞の表彰を受けた。大会閉会にあたり、大会会長の藤井綾南町長が挨拶を述べた。最後に、藤井綾南町長から次期開催地=福井県今立町深谷幹雄助役への大会旗引継ぎが行われた。

来年の「スポレク福井 2004」は福井県で 10 月 2 日～5 日の開催。フリー参加種目・太極拳〈太極拳大会〉が 10 月 3 日(日)に今立町南越中学校体育館で実施される。

福井県連盟は、来年の大会に向けて第17回全国スポレク福井県実行委員会、同今立町実行委員会綾南町と連携して大会開催に向けて準備を進めている。すでにプレ大会も開催している。

なお、香川県連盟は今大会の記録ビデオを作製した。出場者だけでなく一般希望者にも有償頒布を行なっている。

( 日本連盟機関誌「武術太極拳」2003 年 11 月号・ 168 より)  
大会成績一覧は[「国際競技大会、全国大会成績」](#)を参照。